

【摂津市 3/5】市議会において、「アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議の件」を提出し、全員賛成で決議しました。

本日の令和8年第1回定例会において、摂津市議会は、アメリカとイスラエルが2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始したことについて、「国連憲章と国際法を乱暴に蹂躪する無法な先制攻撃であり、断固抗議する。いかなる理由があったとしても、武力による一方的な攻撃で、独立した主権国家の最高指導者を殺害する権限は、トランプ米大統領に与えられていない。この度の軍事攻撃により双方に多数の死傷者が出ており、罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっている。」としたうえで、

「摂津市議会は、アメリカ政府・イスラエル政府に対し抗議し、直ちに攻撃を中止し、交渉による平和的解決に立ち戻るよう要求する。」として、議会議案第1号「アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議の件」を提出し、全員賛成で決議した。

問い合わせ：議会事務局（06-6383-1603）

議会議案第1号

アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議の件

上記の議案を摂津市議会会議規則（昭和62年摂津市議会規則第1号）第14条第1項の規定により、次のとおり提出する。

令和8年3月5日提出

提出者
摂津市議会議員

村上英明
光好博幸
安藤薫
大川ゆり
峰松由紀子

アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議の件

アメリカとイスラエルは2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始しました。これは国連憲章と国際法を乱暴に蹂躪する無法な先制攻撃であり、断固抗議します。

グテーレス国連事務総長はじめ、世界中から批判の声が起こっております。きわめて重大なことは、トランプ米大統領が、イラン政権を「巨大なテロ組織」と決めつけ、「大規模かつ継続的な作戦」を実施する、「イランの海軍を壊滅させる」と宣言し、イラン国民に対して「自分たちの政府を乗っ取れ」として、体制転覆を公然と呼びかけていることでもあります。

いかなる理由があつたとしても、武力による一方的な攻撃で、独立した主権国家の最高指導者を殺害する権限は、トランプ米大統領に与えられておりません。その体制転覆を目的として、「大規模かつ継続的」な攻撃を行うならば、中東及び世界の平和と安定に深刻な打撃をもたらすことは必至であります。

また、この度の軍事攻撃により双方に多数の死傷者が出ており、罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっております。

イランによる報復攻撃も湾岸諸国に拡大しており、軍事的エスカレーションを引き起こす事態は絶対に阻止しなければなりません。

よって摂津市議会は、アメリカ政府・イスラエル政府に対し抗議し、直ちに攻撃を中止し、交渉による平和的解決に立ち戻るよう要求するものです。

以上、決議する。

令和8年3月5日

摂津市議会